



平成26年度 山県市教育センター要覧

建築士 N 君と「法隆寺」の奇跡

山県市教育センター所長 渡辺千俊



法隆寺に魅せられて随分経ちます。あの五重塔が幾度かの修理を経て、1,300 年以上も倒壊せず建ち続けていることに、今も変わらぬ感動を覚えます。東大寺のように戦火にも遭わず、何度も見舞われたであろう雷や台風にも耐えてきました。「これは奇跡だ！」と若い頃感じていました。

免震構造技術の確かさは、東京スカイツリーにも生かされました。また、当時の建築技術や気象学・地質学等の知識は世界水準であったと言われますが、素人目にも、「建ち続けている事実」が何よりの証拠であると思えます。聖徳太子の徳と幸運そして人智、工人達の腕（技術）を感じるのです。

ところで、五重塔を見上げると必ず思い出すのは、中学校以来の友人 N 君です。彼は根っからの野球少年で、中学校時代はあまり勉強しませんでした。高校に入って一念発起。人望も厚く、大学の建築学科へ推薦で入学しました。卒業後もコツコツ勉強を積み上げ、とうとう夢の一級建築士となりました。その時の喜びを葉書で知らせてくれましたが、その一文が私の宝物になっています。

『基礎さえ出来ればどんな高い建造物も建つ。』

古代建築の基礎は『版築（はんちく）』という技法で固められます。まず、薄く土を敷き、短い物干し竿状の木の棒を使い、トントントントン突き固めていきます。その上にまた土をかぶせてトントントントン…これを繰り返していきます。気の遠くなるような単純作業です。立地条件や地質条件のみならず、名もない庶民の基礎打ち作業が世界遺産を支え続けていたのです。

基礎学力・基礎体力…これを身に付けさせる作業が教育です。特に小中学校時代はその時期です。急がず、多くを望まず、コツコツコツコツ…。地味で地道な指導が、結果として強固な基礎を築き、「できた。」「分かった。」の笑顔を増やしていきます。

勉強嫌いの野球少年であった N 君は、近年造園技術も本格的に学び始め、あちらこちらに日本庭園を誕生させています。決して高名な建築家ではありませんが、この事実は、我が同窓会では「奇跡」と呼ばれています。

■平成26年度の重点

『分かる授業
心にひびく教育』

児童生徒を育てる。
若手を育てる。

1. 学力を付ける授業改善
2. 特色ある学校づくり
3. いじめのない温かな風土づくり

《つなぐ + かかわる》
『規律・学力・自己有用感』

【学校ごとに工夫をして】

「3つの実践」の充実を。

平成26年度 山県市教育センター事業

① 研 修

1 基本研修

	名 称	内 容	対 象	月 日
1	初任者教員研修会	新規採用教員として必要とされる基本的事項の研修を行う。	新規採用教員	5/8 6/5 9/24 1/23
2	2年目研修会	採用2年目の教員が互いの実践を交流したり課題を追求したりすることを通して、一層の資質向上を図る。	採用2年目の教員	7/22 10/23
3	3年目、6年目 合同研修会	教職1校目・2校目の教員が実践交流をし、今後の教員としてのあり方を考える。	採用3年目の教員 採用6年目の教員	5/15
4	新赴任者研修会	山県市に初めて赴任する教職員が、市全般について学び教育に生かす。	新赴任者	4/3 6/3
5	学習支援員・ 教育サポーター研修会	具体的な支援のあり方や資質の向上を図る研修をする。	学習支援員 教育サポーター	4/16 9/17 2/4
6	読書指導員研修会	読書指導員としての職務及び読書指導の研修をする。第1回目は図書館担当教員も参加する。	読書指導員 (第1回は 図書館担当教員も参加)	6/18 9/10 2/12
7	講師研修会	児童生徒理解や学習指導等に関する基礎的・基本的な知識や技能を習得する。	講師希望者	7/25 (随時)
8	剣道実技講習会	武道(剣道)指導の基礎と実技を学ぶ。	中学校体育科指導教員 等	8/6
9	教科・各種研修会	各教科、道徳、特別活動、特別支援教育等の授業研究などの研修をする。	全教職員	4/24 6/24 8/18 (8/26) 11/17 2/25
10	学校人権教育研修会	一人ひとりの人権が尊重される学校を目指して、人権感覚の醸成を図る研修をする。	全教職員	8/26
11	特別支援コーディネーター研修会	特別支援コーディネーターの資質の向上を図る研修をする。	特別支援コーディネーター	6/13 2/13
12	服務研修	教育公務員としての服務における課題について研修する。	全教職員	教職員研修会 随時
13	給食調理員研修会	食調理員としての資質や技能の向上を図る研修をする。	給食調理員	4/3 8/18

2 自己啓発研修

	名 称	内 容	対 象	月 日
21	夏期講座 『つなぎ塾』	今日的な課題を解決する知識や技能を身に付け指導力を高める。	教職員希望者	7/24 7/29 8/1
22	学校管理運営 研修会	学校管理運営や管理職のあり方等について研修する。	リーダー的立場の 教員	10/30 1/21

	名 称	内 容	対 象	月 日
23	学校づくりコンサル タント	学校が希望する指導者を講師として招き、 学校経営の助言を受ける。	各校管理職	希望日
24	サークル研修会	年間にわたって、教科等の指導力を高める。	教職員希望者	随時
25	ネットワーク研修会	テラステーションを活用し、研究の情報 や内容を交流・共有し、研修を深める。	教職員	随時



調査・研究

	名 称	内 容	対 象	月 日
31	つなぎ塾 教科等指導員会	3つの教育実践を中心に、市教研・校内研究 等で指導・助言にあたり、夏期講座の講師と なる。	指導員	5/ 夏休み他随時
32	つなぎ塾 専門分野等指導員会	市内教職員のニーズに応じて、得意とする内 容や技術を伝授する。	指導員	夏休み他随時
33	教育の進化を求めて (教育懇談会)	市の学校教育に関する幅広い意見や提言 をいただく。	市民代表	11/
34	スタートカリキュラム 研究会 (幼保小の連携を求めて)	小学1年生が無理なく安心して学校生活をス タートできる具体的な指導法を集積していく。 1学期に小学校1年生担任全員の会を開催	研究員 <small>(第2回は小学校 1年生担任も参加)</small>	4/23 5/ 2/10
35	小中連携研究会	小中学校で取り組む指導内容を相互に理解し、 充実する。	教職員	随時
36	教育研究実践論文・ 自作教具	教育研究実践記録・自作教具の募集を行 い、主体的な研究実践の奨励をする。	教職員	1/15 (1・2次審査)
37	基礎学力定着研究会	各校の学力定着等の取り組み状況の交流・検討 を通して、基礎学力の向上を図る。	教務主任 <small>(第2回 は研究主任も参加)</small>	6/11
38	情報教育推進委員会	情報教育の推進及び充実により、教育情報の有 効な活用や教育活動の質的改善を図る。	推進委員	5/9 10/20
39	社会科副教材 作成委員会	ふるさと教育や各校の授業に資するように、 山県市の文化・自然・社会の教材化を図る。	作成委員	5/7 8/28 11/14 2/4



情報収集・発信

41	教育センター要覧の発行	センター事業の方針や内容
42	図書、月刊誌、研修冊子、指導案	センター図書として蔵書
43	テラステーション	市教研、校内研の授業案、社会科副読本等のデータ
44	教育センターだより「いしずえ」	センター関連記事の掲載
45	なんでも相談コーナー	教育関連の相談事
46	図書貸出	各学校で共通活用できる図書の貸出



教育相談

1 適応指導

趣旨 不登校の児童生徒に対し指導・援助を行い、自立を支援することによって、学校生活への復帰を図る。

① 生活指導員による支援

教室 コスモス教室 山県市教育センター内 TEL：52-1007
日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後3時30分（基本）

② 教育相談員による支援

各学校の実態に応じ教育相談員を派遣し教育支援を行う。

2 電話相談

趣旨 学校教育にかかわる不安や悩みなどの相談に対応し、適切な支援を行う。

窓口 教育センター コスモス TEL：52-1571

日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後3時30分

3 教育相談研修会

趣旨 不登校の児童生徒の自立を支援するために、関係者が連携を密にして、よりよい指導・援助の充実を目指す。

研修会

51 ●生活相談員・教育相談員研修会 12回

52 ●生活相談員・教育相談員・学校教育相談担当者研修会 3回 (4/22 9/30 1/28)



児童生徒対象

	名称	内容	月日
61	夏休み作品相談	電話で相談を受け付け、専門教諭が助言にあたることによって作品の向上を目指す。	夏季休業中
62	夏休み作品展 夏休み作品表彰式	優れた作品の表彰を行うと共に作品展を行い、教科学習の促進を図る。	9/13～15 表彰式9/13
63	夏休み作品づくり	楽しい作品を作る。	夏季休業中
64	小学校陸上記録会	陸上競技への関心と記録向上への意欲を高める。	10/11
65	小中音楽会	音楽表現を聴き合うことを通して、音楽活動への意欲を高める。	11/7
66	こどもの市展	作品のもつよさや美しさにふれ、表現意欲を高める。	11/21～26
67	山びこ	体験したことや考えたことなどを書き表し、伝える力を身に付ける。	随時



共通物品

教材教具	和太鼓（8台）
教育機器	大型インクジェットプリンター「カラー A1ノビ」（1台） ノートパソコン プロジェクター スクリーン
諸検査用具	WISC-III・IV知能検査器具 WISC-III・IV知能検査記録紙 グッドイナフテスト 箱庭療法用具 S-M社会生活能力検査用紙
VTR DVD	●人権教育・・・「歌いたい歌がある」「ラストから始まる」 ●薬物乱用防止教育・・・「DRUG」「薬物乱用教育」 ●学校給食衛生管理・・・「ドライ運用の鍵は人」 ●家庭教育・・・「すばらしき思春期」 「ゆっくり、ゆったり」 「子どもとしつけ」 「頑張れ、お父さん」 「家庭教育手帳」 「家庭教育ノート」 「ママとパパに贈るメッセージ」 「子どもの声に耳をすませて」 「地域こぞって子育てを」 など
教科用図書	小中学校の検定教科書（各社）
児童図書	大型絵本など
ゲームなど	屋内用ペタンク グランドゴルフ もちつき用具（臼、杵） 焼き杉用具 大鍋 ペタンク キャンドルサービス用具 など

センター職員

所長（学校教育課長）	渡辺 千俊
次長	土田 千隆
主任教育相談員	山田 光昭
主任学習支援員	戸崎 徳子
嘱託	梅田 修一
主幹（学校教育課）	鬼頭 立城
課長補佐（学校教育課）	川島 誠
係長（学校教育課）	横山 直美
主幹（生涯学習課）	山本 敏広
主任（生涯学習課）	白井 規浩

教育相談員

林 和子 井藤 康子 鷺見 顕

生活相談員

大西 博之 奥田 義典 村瀬 文 石橋恵美子

沿革

- 平成15年度 ●山県市教育センター設置
平成16年度 ●センター次長配置
●相談員と学校担当者の合同連携研修会発足
●山県市生涯学習リーダー登録者名簿発刊
●センター広報誌『いしずえ』初版発行
- 平成17年度 ●新規15事業開設
平成19年度 ●事業の整理統合、新規2事業（学校教育）
平成20年度 ●事業の整理統合、新規7事業（教職員研修）
平成21年度 ●学校地域支援本部との連携
平成22年度 ●センター移転（旧富波小へ）
●適応指導教室『コスモス』統合
●大研修室にエアコン設置
- 平成23年度 ●主任教育相談員、主任学習支援員配置
●2階研修室にエアコン設置

山県市教育センター

〒501-2257

岐阜県山県市富永495番地

TEL. 0581-52-1007

FAX. 0581-51-0030

E-mail. k-center@yamagata-gifu.ed.jp



